



各学校等、元気澆刺、令和7年度スタート!

丹後こども園 園児 60	宇川保育所 園児 6
園長 高田 悦美	所長 田宮 弘子



丹後小学校 児童 129	宇川小学校 児童 24
校長 伊藤 慎二	校長 吉岡 美保
教頭 増田 孝志	教頭 改田 郁生



新年度となり1か月が過ぎました。

入学式が終わり、保幼小中学校では新しい環境の中での生活にも慣れてきました。

保幼では、春の遠足に出かけたり、小学校では運動会に向けて練習を行っています。中学校では、4月24日～26日、東京方面へ修学旅行を終えました。

丹後中学校 生徒 77
校長 藤原 英一
教頭 上田 真吾



“旅行・集団宿泊行事のめざすところ”

◆平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然と文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについて体験を積むようにすること。

学校生活では、体験できないことを実感した3年生。2泊3日ではありましたが、一回り成長した3年生の姿が見られました。体験したことが自信となり意義ある学校生活になりますように。

特別活動 — 「子どもたちの資質・能力を育てる目標」

- * 学校生活の中で他者と協働する集団活動の意義を理解し、行動の仕方を身に付けることができるようにする。
- * 自己の生活や人間関係の課題を見出し、話し合い合意形成を図ったり、意思決定をする。
- * 自主的、実践的な集団活動をとおして身に付けたことを生かして人としての生き方について考えを深める。参考：中学校学習指導要領 特別活動 学校行事（集団・旅行宿泊的行事）

新しい環境のなかで、子どもたちが身につけてきた力をもとに、仲間同士の遊びや日々の教科学習や諸活動をとおして大きく成長していけるよう丹後学園教職員一同、一丸となって頑張ります。

園児（5歳児）が小学1年生に、小学6年生が中学1年生にスムーズにつながるように！学園の子どもたちが未来に向けて主体的に生きることができるよう支援、指導を進めてまいります。

5月17日～19日 春季体育大会が、各会場にて開催されました！

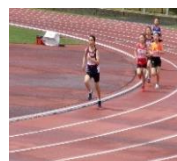
＜部活動 試合結果 ＊バレー 弥栄中と合同、野球 網野中拠点校として参加＞



陸上競技部 総合4位 1年男子100m **1位** 中江 優太 28秒55
2年男子100m **1位** 吉田 翔 **12秒37大会新記録**
2年走幅跳 **1位** 吉田 翔 5m28
3年走幅跳 **1位** 野口 優生 5m15



ソフトボール部 優勝 対大宮 12－7勝、対峰山 15－14勝
バスケットボール部 対網野 16－122負、対峰山 53－69負
バレーボール部 対峰山 0－2負、対網野 2－0勝



卓球部 ＊団体女子はオープン参加

男子 団体 対峰山 0－3負、対大宮 0－3負、対網野 0－3負
女子 団体 対峰山 0－3負、対大宮 0－3負、対網野 0－3負



野球部＜網野中学校（拠）＞ **優勝** 対峰山2－0勝、対久美浜4－3勝

保育所とこども園 「仲良くなろう！」 19日～23日 交流ウィーク



宇川保育所3～5歳児が丹後こども園でなかよく遊びました。遊びを通して私たちは相手とのコミュニケーションや約束事などを身につけ、社会生活に必要なことを学んできたのです。子どもたちにとって意義のある体験となっているのです。

← 保育所・こども園の園児、いっしょになって色水づくりに一生懸命でした。



たかが1歳の違いなのに・・・されど1歳の違いでこうもちがうのか？

遊びから学ぶことが多かった園児たちですが、小学校へ入学すると「時間が基本」となります。学んだことを家庭で学習もできるようにしなければなりません。自分で考えて行動することがとても大切になってきます。年長から、小1、小6から中1となる時期は、わずか1年の違いですが大きく環境が変わる中での生活となります。

～子どもたちの主体的な学びの変容を重点に！～

丹後学園では、発達段階を踏まえ、校種を越えて情報共有しながら環境が変わってもつまずかない指導を展開してまいります。子どもたち自ら問いを立て、主体的に学びを深めていくことができるよう保幼、小1、小中、園中の交流活動も進めていきます。＊今年度もたより、HP等で学園の子どもたちの活動の様子についてお知らせいたします。地域の皆様からの感想等も掲載を予定しますので、学園事務局まで連絡してください。

（事務局担当：丹後学園コーディネーター 森野）



←※二次元コードをご活用ください。HPでも見ることもできます。